

知的財産情報検索委員会

★活動方針

1. 新たな検索技術、情報リソースを収集・検証
2. 知財情報の解析により、R&Dや経営戦略に貢献
3. 企業ユーザーの視点で情報施策・情報を提言

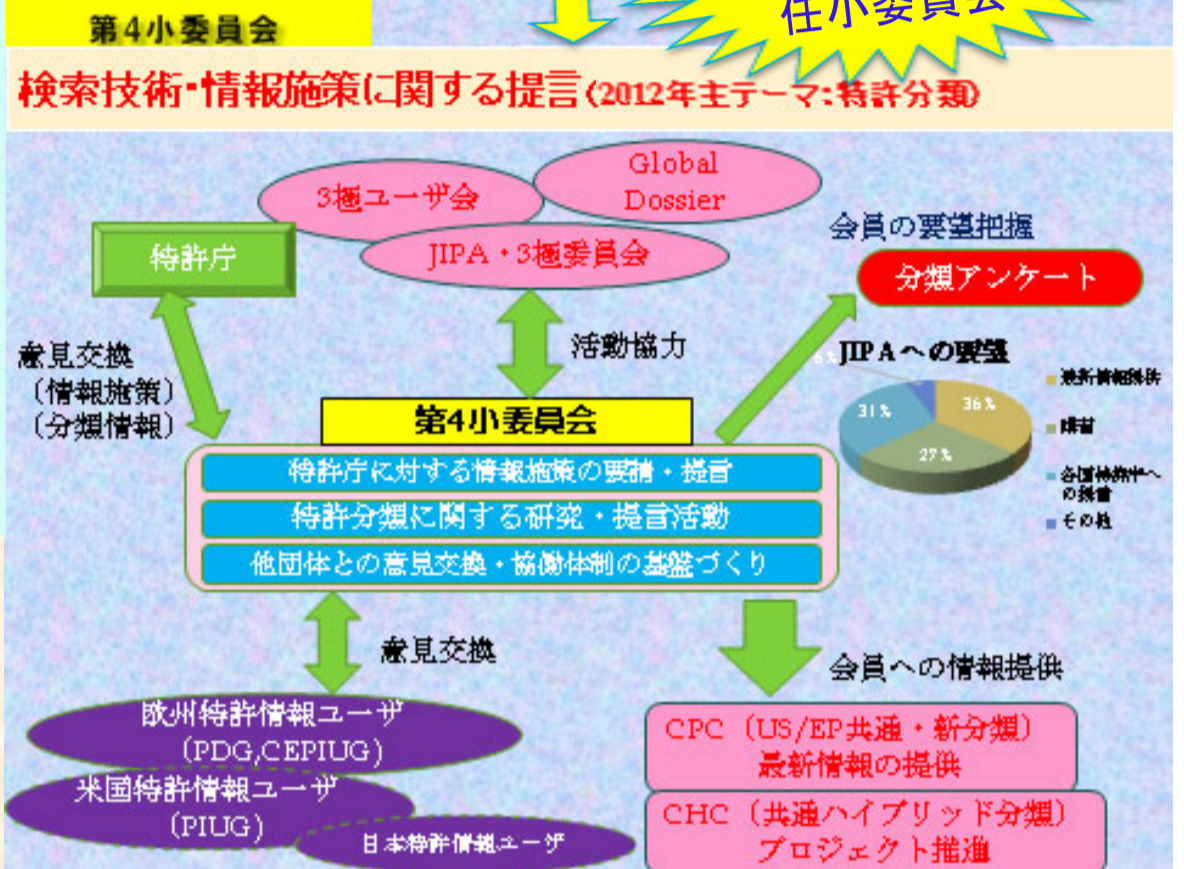
成果のフィードバック
(2012年度実績)
知財管理誌掲載 6件、
CD-ROM2件、東西部会
発表、関東化学第一部
会発表、(以上JIPA内)
講演依頼対応

★活動内容

- 小委員会 (1回/月) : 課題研究
⇒研究成果: 知財管理誌、CD-ROM
- 全体委員会 (3回/年) : 成果報告等
- 夏季セミナー (1回/年)
⇒ ノウハウの共有化、グループ討議
- 対外活動: 特許庁、IPCC、ATIS、
欧州ユーザーグループ等内外関係機関
との意見交換会、**海外訪問団の派遣!**

★委員会規模

53名 (4小委員会、7WG)



EPO Patent Information Conference 2012に代表団を派遣! 2012. 11. 6~8

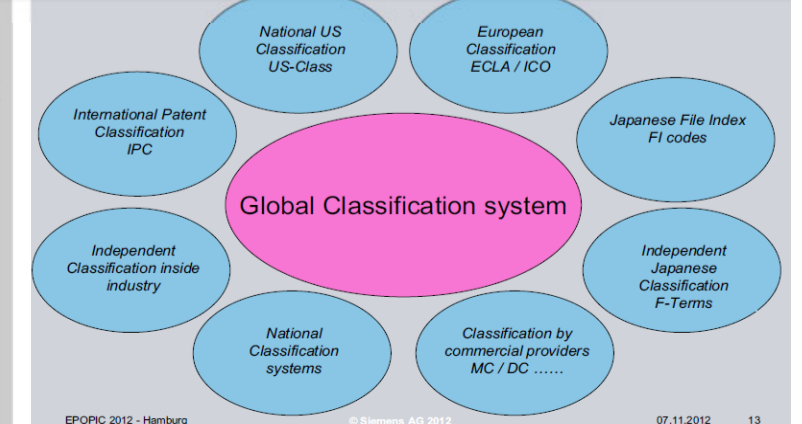
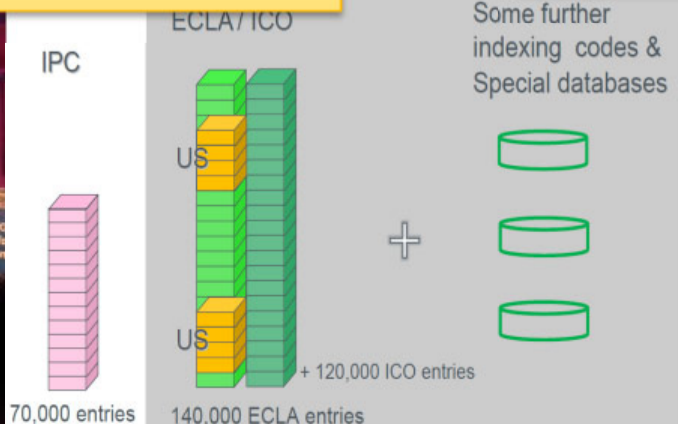
EPO
Patent Information
Conference



- EPOカンファレンス
CPC, Legal Status...
- EUユーザー(PDG、CEPIUG)との
ミーティング
活動概要、教育体制情報交換...
- 欧州調査会社とのミーティング
特許調査関係情報交換
- Airbus社訪問
知財管理体制等情報交換

- ✓ EUのユーザーの考えは...
- ✓ CPC(ICO)の情報収集
- ✓ 中韓特許検索の難しさ
- ✓ FI・Fタームの有効性確認
- ✓ 検索委員会との継続的情報交換へ(特許分類、機械翻訳、教育 etc.)

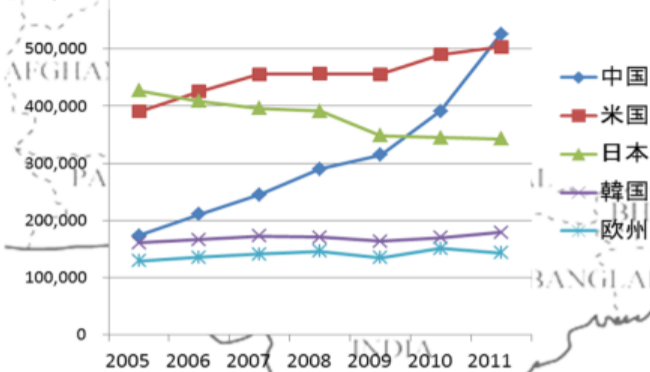
→ 近日報告予定!!



2-1WG: 中国の特許調査

増加し続ける特許出願とリスクへの対応のため、中国特許情報の収集方法と活用法を提案する

【出願件数推移】



2006~2010年公開分の収録率比較 (%)

	ID	MY	PH	SG	TH	VN
現地DB	93	100	96	96	96	89
商用DB	0	10	32	31	32	49

現地DB: 各国特許庁のデータベース
商用DB: 検証した5つの商用DBのうち最も良かった値
統計データを元に収録率(%)を算出。
収録内容は考慮していない。

【中国法的状況(抜粋)】

PRSコード	法的状況説明
C01	特許出願のみなし取り下げ
C02	公報発行後の特許出願のみなし取り下げ
C03	特許出願の取下げ (1993年特許法)
C04	公報発行後の特許出願の取下げ
C05	見なし取下げ (1993年より以前の特許法)
C11	公報発行後の特許出願の拒絶
C12	特許出願の拒絶
C17	特許権の終了
C18	特許権の終了(特許権存続期間の満了)
MMMA	年未払いによる特許権の終了
C10	実体審査請求
C14	登録
C41	権利の移転
C48	特許出願または特許権の回復
C49	特許権の回復
C50	特許権回復の通知
C52	特許出願または特許権の回復の通知
C56	権利者の名前または住所の変更
C57	住所不明の通知
FG1K	実用新案登録
FG4A	特許登録
ERR	ガゼットの訂正

生死判断

【電子包袋DB】



今年リリース

一部収録

中国のプレゼンス増大！
高まるチャイナリスク！！
日本はどう立ち向かうべきか

中国でとりうる対応は？
リスク分散先の一つ、ASEANの状況は？

【中国訴訟DB】



一部無料

高級検索

2-2WG: 新興国の特許調査

先進国では当てになる商用DBもASEANでは発展途上。特許庁DBのマニュアルを改訂、追加。5つの商用DBについて収録状況を確認。ASEAN各国特許庁への要望へつなげる。

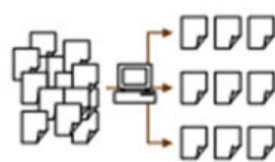
(BR, RU, TWのマニュアルも作成)

1-1WG: 最新検索ツールを駆使した効率的な特許調査手法の研究(国内外)

具体的には「テキスト解析ツールを活用した検索結果の分類作業における効率化」を検証



最も効率化したい業務:
・テーマ集合作成、社内分類付与、SD#結果の振り分け etc.
・特許分類(IPC等)ではできない分類



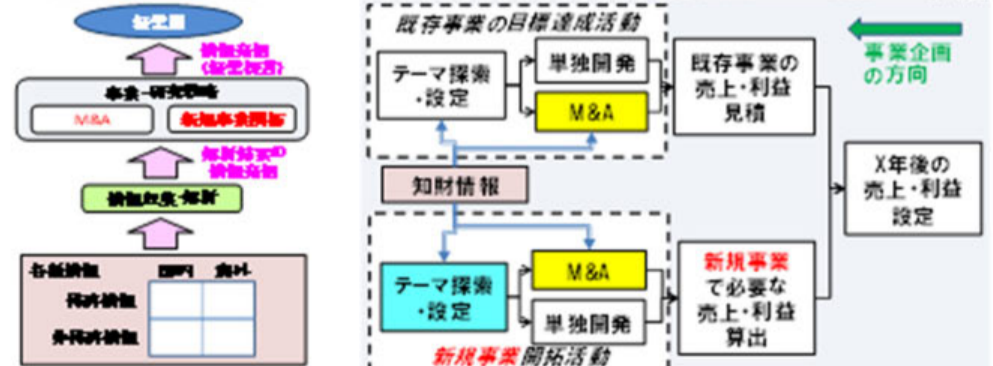
テキスト解析ツール
・自動分類ツール
・クラスタリングツール
○現時点でどの程度の性能があるか
○どのように利用すれば効率的か
○外国語文献は扱えるのか

成果イメージ
・効率化の検証事例紹介
・現時点のツールで実現可能なレベル
・ユーザーとして将来的に実現を望むこと
・外国語対応状況

2012年度研究テーマトレンド

3-1WG 「M&Aや新規事業開拓に必要な情報の調査・解析手法

“経営に資する”構図



研究コンセプト

M&Aに必要な情報の調査・解析手法

- ① “戦略的なM&Aにおけるターゲット企業の選定”に関する研究
- ② “社外からの持ち込み案件における1次判断”のためのスピーディーな情報発信に関する研究

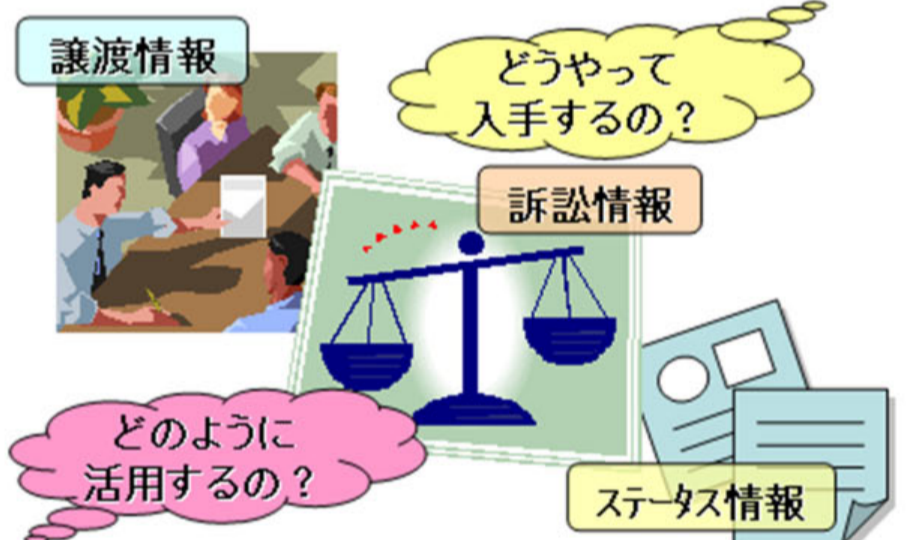
新規事業開拓に必要な情報の調査・解析手法

- ① “新規テーマ探索手法”に関する研究
- ② “実現手段(単独開発かM&Aか)選定”に関する研究

情報の整理・加工、分析による付加価値の創出！

1-2WG: 事業に活かす知財情報の分析・活用手法

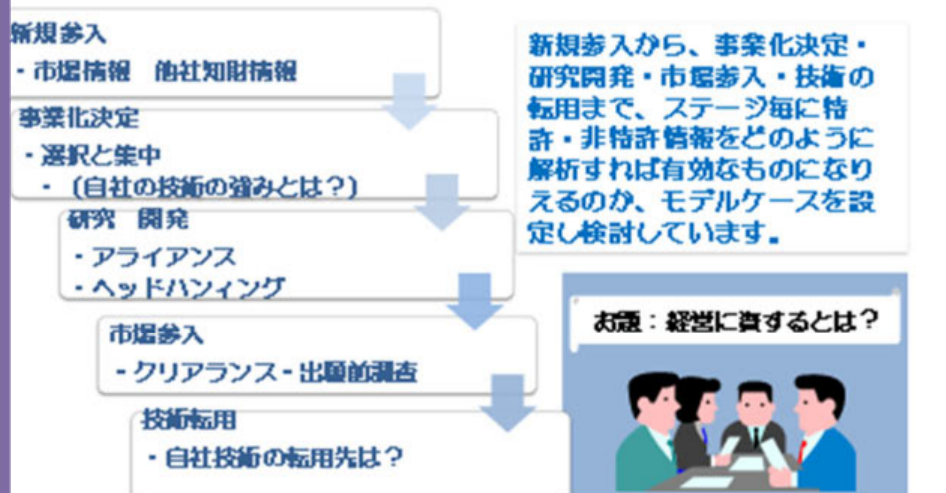
訴訟や譲渡情報などの入手方法や分析・活用手法を提案



情報の収集から発信へ！

3-2WG

題目：新製品開発におけるステージ毎の特許・非特許情報の解析について



お題：経営に資するとは？

